

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35 (13)	○災害対策 立地から考えられる災害リスクに対しての研修や避難計画策定、訓練実施は行えているが、火災訓練について消防署(専門家)からの意見や助言を加えることで、より実践に即したものになるのではないか、という外部評価での指摘(助言)を受けた。	①年間計画に基づいた研修や訓練の実施により、利用者の安全確保が行える実践力を向上する。 ②専門家(消防署)の意見や助言を踏まえた火災時の避難計画が策定できる(計画の見直し修正ができる)。	①東館利用者とは合わせ27名の方の避難確保であることを意識できるよう、訓練は合同で行い反省も含め共有していく。 ②初回の火災避難訓練時に、南消防署または妹尾出張所に立ち会いを依頼し実施する。その際の助言をマニュアルに活かす。 ③地域の防災訓練に参加する。	12ヶ月
2	39	○身だしなみやおしゃれの支援 自分の好みの衣類の着用や化粧、髪染めなどできている部分もあるが、自分で行えない方への不足がある。 身だしなみや爪、髪・髭などを整える、季節やTPOに合わせたおしゃれを楽しむなど暮らしのベースとなる支援にも少し力を入れたい。	①髪型や服装などの身だしなみやお洒落が、本人の個性や好みを大切にして、毎日整えられるようになる。 ②整容の乱れや汚れ、臭いや不快が続かず、清潔や心地よさが保たれる。	①一日の始まりを大切に、洋服選び、髭剃り、化粧など身だしなみを整える支援を行う。 ②好みや季節にあった衣類、帽子やバッグなどの装飾品、化粧品などを不足することなく用意する。 ③衣類の汚れ、傷み、ほつれ、ボタンの掛け違いや不足、サイズが合わない、髪の毛の乱れ、爪や髭が伸びていることなどをそのままにしない。	12ヶ月
3	54 (20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 馴染みの物や写真は並んでいるが、趣味嗜好に関するものは少ない。清潔や使いやすさなどもう少し工夫や配慮をすることで、前項身だしなみやお洒落を楽しむ空間にも繋げたい。 また、本人はもちろん、面会時など本人と家族が心地よく過ごせるようにできるとよい。	①一人一人の居室が、本人の馴染みの物や必要な物、楽しめるものなどが揃っていて、安心して過ごせる空間となっている。 ②その空間は、清潔、心地よさ、気持ちよさが感じられ、家族と一緒にくつろげる場となっている。	①各居室に必要な掃除道具を揃え、気づいたときにいつでも清掃ができるようにする。 ②シーツ交換時はベッドの拭き掃除も行う。 ③部屋の換気や消臭にも気をつけ、温度湿度も適度に保たれるようにする。 ④各居室担当者が、ベッド周辺や洗面台、タンスの整理整頓を行うとともに必要な物品が揃っているか確認し整える。 ⑤毎月1名ずつ、居室の環境、配置、使いやすさや動線を確認し、最低限ではなく暮らしの豊かさや心地よさにつながるものを検討していく。 ⑥家族面会時には、お茶やアルバムなどを用意し、ゆっくり一緒に過ごせるよう配慮する	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。